

[009]九州大学情報統括本部ITだより

<https://hdl.handle.net/2324/4743308>

出版情報：九州大学情報統括本部：ITだより．9，pp.1-，2014．Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン：

権利関係：





九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

ISSN 1882-4447

vol.9 Spring 2014

九州大学情報統括本部

ITだより

フィッシングメールにご注意！

◆サイト <https://www.sec.kyushu-u.ac.jp/> ◆担当 情報セキュリティ対策室
◆連絡先 Tel : 092-642-7647 E-mail : security-room@iii.kyushu-u.ac.jp

最近、大学職員あてにフィッシングメール（情報を盗もうとする詐欺メール）がたくさん届いています。フィッシングメールに対応すると、IDやパスワードの漏洩につながりますので、このようなメールには**絶対に対応しないでください**。

心当たりのない、確認のクリックの強要や、IDやパスワードを入力するようなメールが来た場合は、対応をせず、情報統括本部に相談されて下さい。

フィッシングメールの特徴

送信 返信 全員に返信 転送
2014/05/07 (水) 7:20
Active Mail <b-s-c@volny.cz>
管理者レポート
宛先

メールボックスがいっぱい입니다..
230MB 240MB

現在のサイズ最大サイズ
メールボックスが18万キロバイトに達したため、警告を受けた。あなたのメールボックスのサイズをアップグレードするまでは、新しいメールを送受信できない場合があります。
利用できるより多くのスペースを作るために、[ここをクリックして](#)ください。更新および削除するには、使用していない、もはやしていないすべてのアイテムを、またはあなたの個人用フォルダファイル(PST)に移転するには、詳細を記入してください。
ご注意: 改善し、このメールに?答するように、メールボックスの近くにいない場合は、メールボックスのサイズを更新します。あなたのメールボックスから不要な項目を削除し、削除?みアイテムフォルダを空に。

差出人アドレスが九州大学のドメイン(kyushu-u.ac.jp)ではない
ただし、差出人アドレスは偽装可能ですので、九州大学のドメインからであれば大丈夫ということでは決してありません。

文章が不自然
フィッシングメールは機械翻訳された文章が使われているので、日本人が読むと不自然な文章であったり、文字化けの混入があることが多いです。

参照先のURLが、九州大学のドメインではない
誤って、メール本文のURLを開いてしまった時に、URLをよく見てください。ただし、九大内のサーバにフィッシングサイトが作られている場合もありますので、URLが九州大学のドメインであれば、大丈夫ということでは決してありません。



目次

- ・フィッシングメールにご注意！
- ・全学基本メールの利用（職員用・学生用）
- ・学生SSO-KIDの導入（新ID管理システム導入）
- ・ホスティングサービスを利用しませんか？
- ・イベントスケジュール



全学基本メールの利用 (職員用・学生用)

◆サイト <http://www.m.kyushu-u.ac.jp/> ◆担当 全学基本メール事業室

◆連絡先 Tel : 092-642-2306 E-mail: query@m.kyushu-u.ac.jp

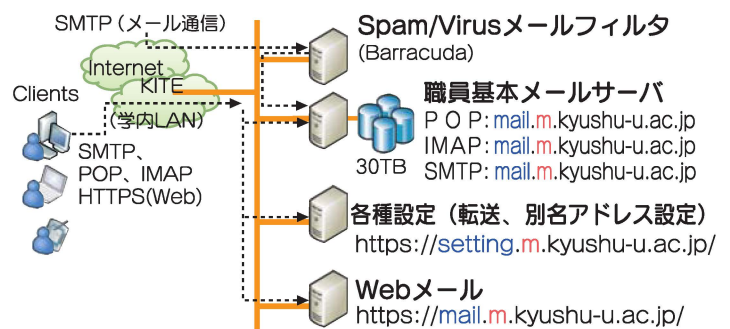
九州大学の全構成員（学生番号所有者およびSSO-KID所有者）に提供してきた「全学基本メール」のシステムを2014年3月に全面更新しました。新システムの大きな目標は、大容量化・安定運用・経費削減の三つです。

- **メーラースプールを増加**しました。（職員・学生：300MB→1GB）
- 学生用、職員用のどちらのメールシステムでも、**IMAPを提供**します。（スマートフォンやPCからの利用が快適・便利）
- 職員用基本メールでも**姓名ベースの別名アドレス**を使えるようになりました。（学生用には以前から提供）
- 学部から大学院進学時等にも、姓名ベースのアドレスやデータを引き継げます。

新・職員基本メール

項目	説明
基本アドレス	英字氏名ベースアドレス 例：kyudai.taro.123@m.kyushu-u.ac.jp
別名アドレス	英字氏名に基づく、別名アドレスを1つ設定可 例：t.kyudai.123@m.kyushu-u.ac.jp
転送設定	転送先アドレスを3つまで指定可能。 ・全メールをサーバに残さず転送 ・メールをサーバに残しつつ転送
スプール容量	1GBまで保持（旧システムでは300MB）
保存期間	制限なし（旧システムでは90日）
送受信可能メールサイズ	1通のメールが20MBのメールまで送受信可能（変更なし）
利用可能な人	SSO-KIDを持つ者 （九州大学職員、申請者、名誉教授）
利用開始日	SSO-KIDアカウントを有効化した日
利用終了日	SSO-KIDアカウント削除日（職員は退職日） から100日後にメールアカウント削除。サーバに保存されているメールデータも削除。

■ 新メールシステムについての詳細は次のURLを参照してください。
<http://www.m.kyushu-u.ac.jp/m/>

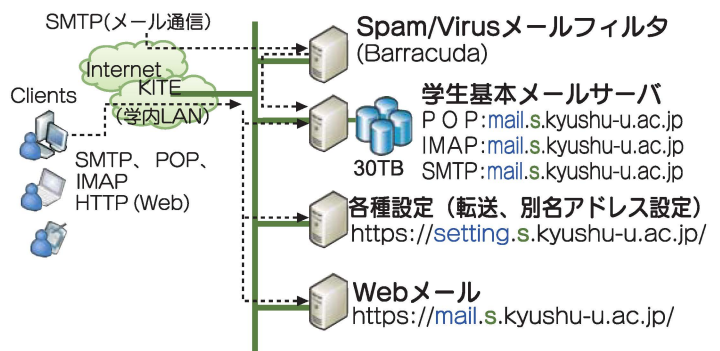


項目	受信 (POP)	受信 (IMAP)	送信 (SMTP)
プロトコル	POP3 over SSL : 995 POP3 over TLS : 110	IMAP over SSL : 993 IMAP over TLS : 143	SMTP over SSL : 465 SMTP over TLS : 587 (submission port)

新・学生基本メール

項目	説明
基本アドレス	学生番号ベースアドレス 例：1AB14001X@s.kyushu-u.ac.jp
別名アドレス	英字氏名に基づく、別名アドレスを1つ設定可 例：t.kyudai.123@s.kyushu-u.ac.jp
転送設定	転送先アドレスを3つまで指定可能。 ・全メールをサーバに残さず転送 ・メールをサーバに残しつつ転送
スプール容量	1GBまで保持（旧システムでは300MB）
保存期間	制限なし（従来通り）
送受信可能メールサイズ	1通のメールが20MBのメールまで送受信可能（変更なし）
利用可能な人	学生番号を持つ者（正課生・非正課生）
利用開始日	SSO-KIDアカウントを有効化した日
利用終了日	学生番号削除日（卒業等確定日）から100日後にメールアカウント削除。サーバに保存されているメールデータも削除。

■ 学生基本メールの詳細は次のURLを参照ください。
<http://www.m.kyushu-u.ac.jp/s/>



メールサーバで使えるプロトコル

項目	受信 (POP)	受信 (IMAP)	送信 (SMTP)
プロトコル	POP3 over SSL : 995 POP3 over TLS : 110	IMAP over SSL : 993 IMAP over TLS : 143	SMTP over SSL : 465 SMTP over TLS : 587 (submission port)





学生SSO-KIDの導入 (新ID管理システム導入)

◆サイト <http://web.sso.kyushu-u.ac.jp/> ◆担当 認証基盤事業室
◆連絡先 Tel : 092-642-7234 E-mail: id-room@iii.kyushu-u.ac.jp

新ID管理システムの導入

学生用と職員用に分かれていた利用者ID（利用者アカウント）管理システムを統合しました。導入費および保守費の削減と、利用者アカウントデータの信頼性向上が実現できました。新ID管理システムの導入に合わせて、長らく懸案となっていた問題を解決することができました。

学生SSO-KIDの導入

- 2014年度の入学生（※）から、「学生SSO-KID」と名付けた学内情報サービス用の利用者IDを付与することになりました。
- 2013年度以前の入学生は、原則「学生番号でのログイン」になります。（今までと同様です）
 - 2014年度以降の入学生は、原則「学生SSO-KIDでのログイン」になります。ただし、一部の情報サービスは学生番号でのログインになります。
 - 学生SSO-KIDは10桁の数字で、学生証の裏面に印字されています。
- ※ 編入学生は対象外です。詳しくは全学共通IDの確認方法のページをご覧ください(<http://web.sso.kyushu-u.ac.jp/pw/ownid/>)

学生SSO-KID導入の理由

セキュリティ向上	学生番号は、メールアドレスが「学生番号@s.kyushu-u.ac.jp」のため、外部に知られやすい。学生番号が分かればパスワードだけを破れば良い。実際、学生アカウントを踏み台にした迷惑メール配付が発生している。
進学者への対応	学部卒業から大学院入学までの間に、図書館やkitenet等のサービスを使えない。メールや図書館利用履歴などの学部時代のデータは進学時に消去される。
入学前自習	合格通知から、入学までの間に、予備勉強や事前調査を行う環境を実現したい。
健康診断対応	入学式の前に実施される健康診断において、学生番号が不明でも健康診断を出来る体制を作りたい。

IC学生証



新しいアカウント有効化作業

学内情報サービス利用前に、各自で自分のアカウントを有効化（Activation）する必要があります。2014年度より、アカウント有効化の作業は、学生も職員も同じ手順になりました。

アカウント有効化のページ <http://web.sso.kyushu-u.ac.jp/pw/activation/>

SSO-KID（または学生番号）、生年月日、登録コードを入力

- 学生の「登録コード」は学生証に印字されています。
- 職員の「登録コード」は紙のSSO-KIDカードに印字されています。（IC職員証には印字されません）

英字氏名の確認（修正）
自分のパスワードを入力

パスワード忘れに備え、
連絡先登録と秘密の質問設定

- 上記のアドレスに、新パスワード設定用のURLが送信されます。
- 自分だけの秘密の質問・回答を用いたパスワード再設定も可能です。





ホスティングサービスを利用しませんか？

◆サイト <http://hosting.cc.kyushu-u.ac.jp/> ◆担当 ネットワーク事業室

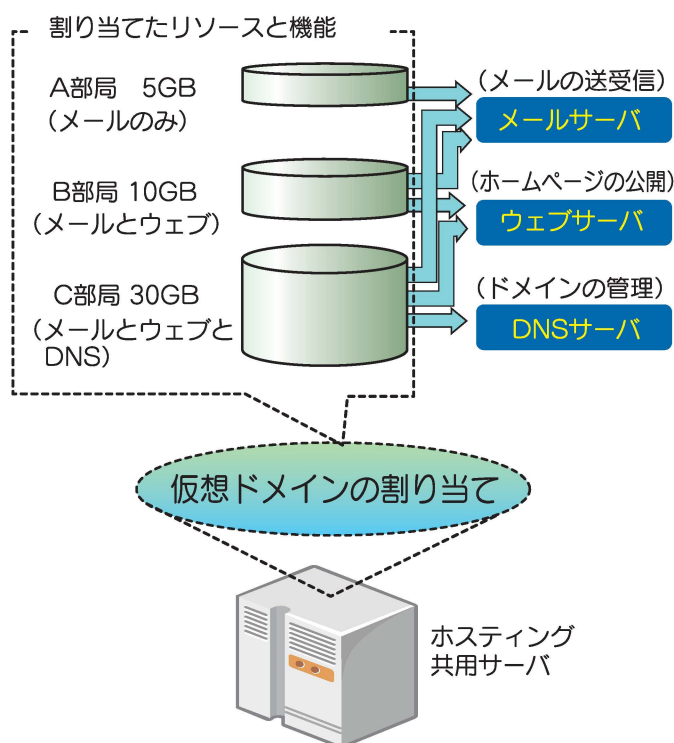
◆連絡先 Tel: 092-642-2309 E-mail: it-room@iii.kyushu-u.ac.jp

部局で運用しているメールサーバやウェブサーバの面倒なセキュリティ対策が、情報統括本部のホスティングだと不要です！

ホスティングサービスの主な特長

- ホスティングを利用することで充実したセキュリティ対策を委任
- ハードウェア的な維持管理を委任
- 共用サーバ上に、希望ドメイン名でのサーバを開設
- 設定操作はブラウザからGUIで簡単
- 自由なユーザ登録が可能
- 自由なメーリングリスト登録が可能
- 急なウェブサーバ構築に迅速に対応
- 各種CGIやPostgreSQL、MySQLなどのDBを利用したウェブサーバの構築

ホスティングサービスのイメージ



イベントスケジュール

現在予定のイベントは下記の通りです。 ※開催時期は現在調整中です。

研究用計算機システムに関する講習会

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| ■ Xeon Phiプログラミング | ■ AVSEXPRESS、並列可視化ライブラリ |
| ■ 高性能アプリケーションサーバチューニング | ■ MicroAVS、並列可視化ライブラリ |
| ■ EnSight | ■ SCIGRESS ME |
| ■ SYBYL | ■ Gaussian 利用法 |
| ■ SAS | ■ Marc/Mentat 利用法 |
| | ■ Nastran/Patran 利用法 |
| | ■ 並列プログラミング入門(OpenMP、MPI) |
| | ■ CX400、FX10 向け高速化プログラミング |
| | ■ CUDA/CUDA Fortran プログラミング |

最新のイベント情報は情報統括本部のホームページ <http://iii.kyushu-u.ac.jp> に掲載します。

